

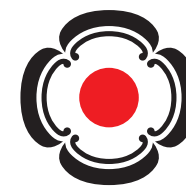
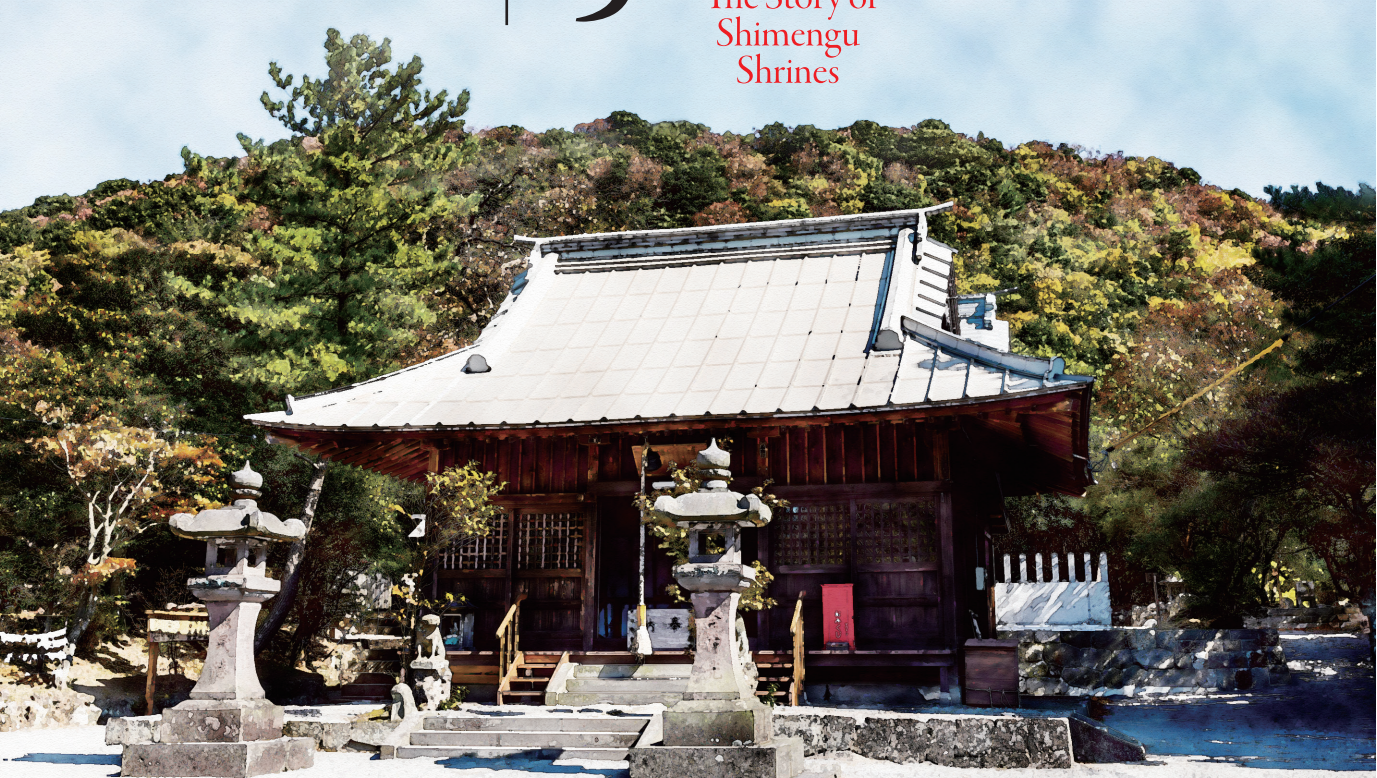
雲仙から始まる九州のひみつ

四面宮 ものがたり

九州総守護の神社



The Story of
Shimengu
Shrines



九州の守り神・四面宮の神社一覧

雲仙 温泉神社(総本社)	雲仙市小浜町雲仙319番地	① ☎0957-73-3533
千々石 温泉神社	雲仙市千々石町己83番地	② ☎0957-37-2020
愛野 温泉神社	雲仙市愛野町乙2155番地1	③ ☎0957-38-3001
吾妻 温泉神社	雲仙市吾妻町布江名964番地	④ ☎0957-38-3780
稲田神社	雲仙市吾妻町平江名804番地	⑤ ———
瑞穂 温泉神社	雲仙市瑞穂町西郷戊785番地	⑥ ———
神代 温泉神社	雲仙市国見町神代己1460番地	⑦ ———
土黒 温泉神社	雲仙市国見町土黒戊603番地	⑧ ☎0957-78-2790
多比良 温泉神社	雲仙市国見町多比良丁153番地	⑨ ☎0957-78-2360
湯江 温泉神社	島原市有明町湯江甲989番地	⑩ ☎0957-68-1517
大野 温泉神社	島原市有明町大三東戊1924番地1	⑪ ———
大三東 温泉神社	島原市有明町大三東丁531番地	⑫ ☎0957-68-0151
三会 温泉神社	島原市亀の甲町乙1700番地	⑬ ☎0957-62-5704
温泉熊野神社	島原市杉山町甲502番地	⑭ ☎0957-64-6511
田中神社	南島原市深江町乙867番地	⑮ ———
有家 温泉神社	南島原市有家町山川1277番地	⑯ ☎0957-82-2650
北有馬 温泉神社	南島原市北有馬町丁588番地	⑰ ———
加津佐 温泉神社	南島原市加津佐町己2665番地	⑱ ☎0957-87-2576
河上神社	諫早市森山町本村2829番地	⑲ ———
宗方神社	諫早市宗方町368番地	⑳ ———
小川神社	諫早市川床町1107番地	㉑ ———
諫早神社	諫早市宇都町1番12号	㉒ ☎0957-22-2073
福田神社	諫早市福田町45番1号	㉓ ———
天満神社	諫早市西里町770番地	㉔ ———
深海神社	諫早市高来町船津417番地	㉕ ———

☎ → 神職が常駐している本務神社です。

(ただし、外出して不在の場合もありますので御用の際はお問合せください。)

HP

四面宮会ホームページ

shimengu-jinja.jp





四面宮ものがたり

The Story of Shimengu Shrines

世界が認めめた大地のエネルギー

長崎県の島原半島は、世界的に貴重な地質遺産を有する自然公園として、地質版の「世界遺産」と言われる「世界ジオパーク」に、平成21年(2009年)に「日本第一号」として認定されました。火山、水、風をはじめ自然のエネルギーと人々との共生が息づく場所、まさに島原半島は世界が認めるパワースポットなのです。

島原半島

阿蘇

高千穂

高野山

富士山

比叡山

雲仙岳

島原

有明海

門司

諫早

小浜

自然と人々の物語

約430万年前におきた海底火山の噴火をはじめ、活発な火山活動によってできた島原半島。そこには美しい風景と豊かな大地が創り上げられ、そこに住まう人、魅せられた人々により様々な文化や歴史が生み出されてきました。その一つが、この地で生まれた九州総守護の神社「四面宮」の物語。私たちのご先祖様が守り育ててきた物語です。

「天下の三山」と 呼ばれた聖地

その昔、島原半島の霊山^{れいざん}である雲仙は、山岳信仰^{さんかくしんこう}（修験道^{しゅげんどう}）が盛んで大いに栄えていました。千人を超える僧^{そう}が修行に励んでいたという記録も残っています。

雲仙はかつて、比叡山や高野山とともに「天下の三山」と称されるほどの聖地とされてきました。

その繁栄ぶりは、高野山をもしのぐ勢いで「東の高野山、西の雲仙」と言われるなど、山岳信仰の霊山として全国に知れ渡っている場所だったのです。

日本で初めて 見える山、雲仙

修験道が盛んな頃、比叡山・高野山・雲仙の修行僧^{しゆげんそう}たちはそれぞれに交流を持ち、中国大陸（唐）へ渡航しての修行も行われていました。

その際、中国大陸と日本を船で行き来をしていた時に、海上において日本で初めて見える山が「雲仙」でした。そこで、雲仙は別名を「日本山」と呼ばれていました。

日本を代表する聖地、雲仙。じつは、九州を守る神々が住まう場所でもあることをご存じでしょうか。



四面宮の誕生

その昔、奈良県にある著名な寺院、東大寺の建立に尽力をした、行基ぎょうきという有名なお坊さんがいました。

大宝元年（701年）、行基は熊本県・天草あまくさから雲仙の噴煙を見て、雲仙を求法の地と定め、この地にやってきます。そして、行基は祈願を続けながら山の主を尋ねました。

すると、空中に30mほどの白い大蛇が現れ、行基を見ると、たちまち四面の美女となりました。行基が「あなたは何者ですか」と尋ねると「私は九州の守り神である」と答えて大きな光を放って消えてしまいました。

行基は、このことを時の天皇、文武天皇に報告したところ、九州の守り神を祀る寺社を、雲仙に建立するよう行基へ命じました。文武天皇の命を受け、行基は雲仙に、満明寺（寺院）と四面宮（神社）をあわせて造営することになったのです。

四面宮は、地元の人々から、九州総守護の神社として、また地元の氏神様として「お四面さんしめん」と呼ばれるようになりました。

また、その広大無辺の御神徳を身近にお祀りしたいという願いから四面信仰は島原半島を中心に広がっていきます。四面宮は、諫早市・雲仙市・島原市・南島原市、そして佐賀県にも次々と建立されていきました。その数は、今わかるだけでも25社以上ののぼります。



[MEMO] 今の九州は、それぞれの国？

福岡県／筑前・筑後・豊前の一部
佐賀県／肥前の一部
長崎県／肥前の一部
熊本県／肥後
大分県／豊前の一部・豊後
宮崎県／日向
鹿児島県／薩摩・大隈



=



国生み、日本誕生

くにうみ、にほんたんじょう

今から1300年前に書かれた、日本最古の歴史書『古事記』。ここには、神さまの様々な物語や、日本の成り立ちが描かれています。

この世界に、まだ日本が存在しない、遠い遠い昔のこと。イザナギの神・イザナミの神、この夫婦の神さまが、協力し合って日本列島をつくっていきました。最初に淡路島、次に四国、そして、九州や本州などが誕生しました。

その中で、九州が生まれた時の様子として、古事記には「九州は、身一つにして面四つあり」と書かれています。

四面宮は九州の守り神

つまり、九州は1つの体(大陸)に、4つの顔(国)があって、『一身四面の神さま』が守っている大陸だったのです。九州の4つの顔(国)とは、「筑紫の国」「豊の国」「肥の国」「熊曾の国」でした。

時は流れ、この4つの国は、9つの国に分かれていきます。

- 「筑紫の国」↓ 筑前・筑後
- 「豊の国」↓ 豊前・豊後
- 「肥の国」↓ 肥前・肥後
- 「熊曾の国」↓ 日向・薩摩・大隈

このように、4つの国から、9つの国になったことで、はじめて「九州」という呼び名が誕生したのです。

三鈷の松

まぼろしの松

雲仙には、「三鈷さんこの松」と呼ばれるまぼろしの松があります。

一般的な松は、葉の数が2本ですが、まぼろしの三鈷の松は葉が3本あります。

約1200年前、弘法大師は唐に渡って修行をしていました。その帰国の際、「日本で最初の修行地を示しておくれ」と、弘法大師は祈願をこめて「三鈷さんこ杵しよ」という仏具を空に向けて投げました。日本へ帰ると、なんと高野山の松の木に三鈷杵が引っかかっているのを見つけました。その松をよく見ると、葉が3本あったことから、幸運をもたらす「三鈷の松」と呼ばれるようになりました。

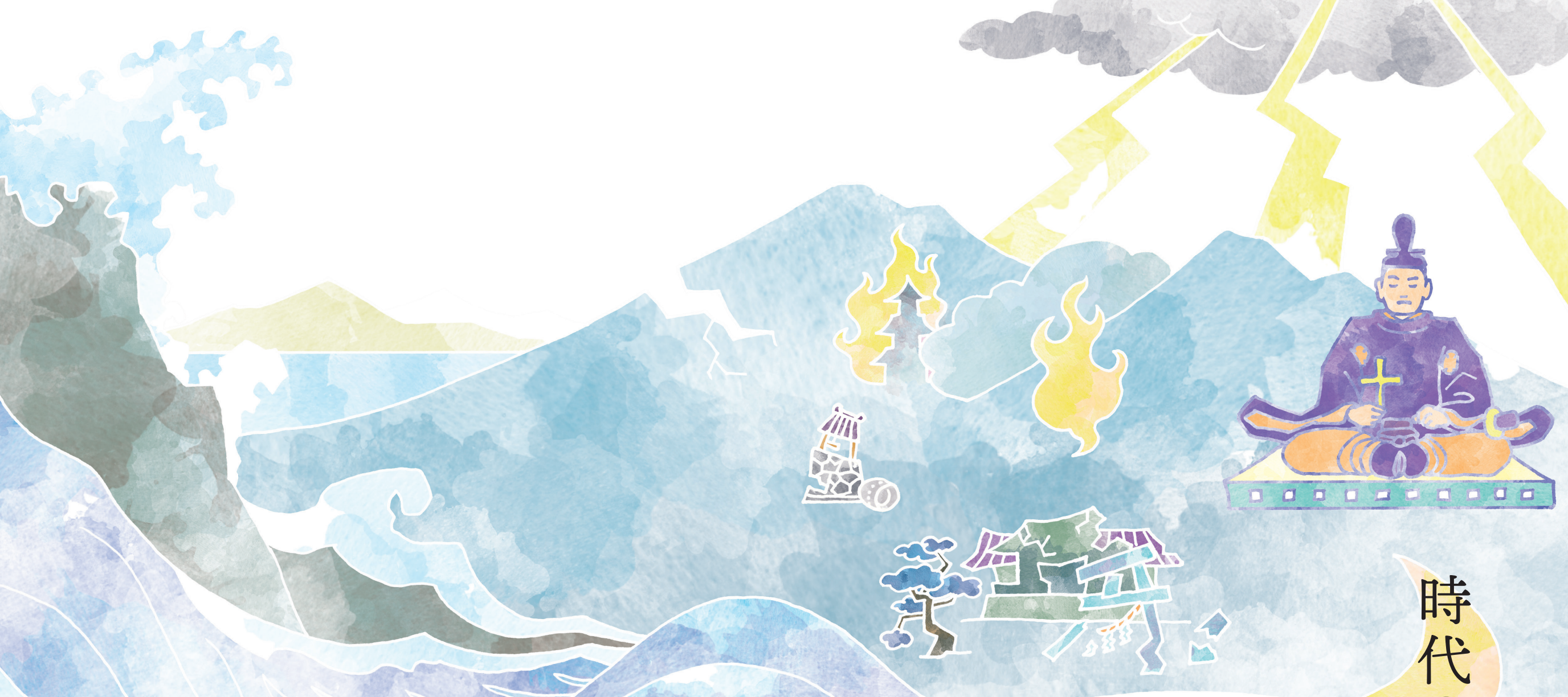
当時、高野山と雲仙は修行僧の交流があり、お互いに身体の安全を祈願していました。そしてその祈る心を込めて、幸運をもたらす「三鈷の松」が高野山から雲仙へ移植されていたのです。



煩惱を打ち祓うとされる仏具「三鈷杵」

元寇から日本を守った四面の神

13世紀後半、モンゴル帝国(元)から日本が侵攻された「元寇げんこウ」という出来事がありました。その際、元軍には一身三面の勇士がいて、日本軍を悩ませていました。そこに忽然と「一身四面」の勇士が出現。すると、たちまち元軍の三面の勇士を撃退し、日本は国難を逃れました。鎌倉幕府は使者を派遣し、その四面の勇士の本性を尋ねると「私は、肥前の国・雲仙の神である」と言いました。これを聞いた鎌倉幕府は、恩賞として神田しんでんを四面宮に寄進しました。また、九州各地の大名は四面宮を「勝利の神」として崇敬し、祭事の際には特使を派遣して手厚く祀るようになりました。



時代の荒波の中で

雲仙は、比叡山や高野山とともに「天下の三山」と称され繁栄をしてきました。ところが16世紀半ばから、日本へのキリスト教の布教の影響を受けて、キリシタン大名となった有馬晴信^{ありまはるのぶ}は、仏教をはじめとする山岳信仰に対する弾圧をしました。そこで、島原藩の寺社仏閣はことごとく破壊されてしまいました。

宣教師のルイス・フロイスが書いた『日本史』によると、たった3ヶ月の間に、大小合わせて40を超える神社仏閣が破壊され、それらの中には極めて美しい建物も含まれていたことが記されています。

また、神社と寺院の関係にも時代の流れが押し寄せます。仏教が日本へ伝来したのは今から1500年前。奈良時代になると、同じ敷地内に神社と寺院が併せて建立されることも多くなり、その後、神社と寺院は近い関係が1000年ほど続きました。

しかし、今から150年前の明治時代となって、時の新政府は、神社と寺院を分離するように命じ、神社から仏教色が廃される動きが広まりました。

そのような中で、「四面宮」という神社名も、明治三年には「筑紫国魂神社」に変更され、その後は「温泉神社」や、地名を冠した「諫早神社」や「福田神社」等へ神社名が変わることになり現在に至ります。



九州の守り神、 地元の守り神として

日本を代表するパワースポット、島原半島。雲仙。

この聖地には約1300年前に、文武天皇の勅願によって創建された九州総守護の神社「四面宮」がお祀りされてきました。

古来より^{れいげん}靈験あらたかで、元寇から日本を守り、九州を守る神様、地域を守る氏神様として様々な困難が立ちはだかった激動の時代も、途切れることなく厚く崇敬されてきました。

このたび、長崎県内の元・四面宮の神社が手を携えて「四面宮会」を結成しました。市や町の枠を越えて、それぞれの地域に根ざした神社としてのつながりを活かして、尊き四面宮の御神徳を、未来へとつないでいく活動を始めています。

この地に、九州総守護の神社があることを地元の皆さまに知っていただき、地域社会の温かいつながりを感じながら暮らしていけるよう、皆さまと共に神社の祭事などを通じて、神社だからこそできることを進めていきたいと思っています。





参拝

さんばい

正しいマナーを身につけて
気持ちも晴れやかに

01 鳥居をくぐる
 気持ちを整え、鳥居の前で一礼をしましょう。
 (帽子をかぶっている場合は脱帽、喫煙や飲食も控えます)

02 手水舎で清める
 水で清める順番(左手→右手→口をそそぎ→左手)

03 参道をすすむ
 心を落ち着かせ、お参りの準備を整えましょう。

04 二礼二拍手一礼
 お賽銭(御志、額に決まりありません)を納めます。
 2回おじぎをしたあと、2回手を打ち、心を込めて祈りましょう。最後にもう1回、おじぎをします。

05 おみくじを引く
 隅々まで読んでみると、道を開くヒントがあるかも。

06 御朱印をいただく
 参拝して神様とご縁を結んだ証として御朱印を受けましょう。
 御朱印をいただけるのは神職が常駐している神社です。対応ができない日時もありますので事前に問い合わせしてもよいでしょう。



お参りメモ

「頼む」よりも「誓う」

試験前のお参りのときは「合格しますように!」ではなく「全力を尽くしますので、お力をおかしてください!」がよいでしょう。神さまは、主体的にがんばる人を応援しています。

お礼参りを忘れない

人間関係と同じで、神さまにも礼を尽くすことが大切です。お参りをしたら、その結果はどうであれ、お力添えしてもらったことへの感謝を、改めて伝えに行きましょう。

なぜ拍手をする(手を打つ)のか?

遠い昔、尊い人へ挨拶をするときに拍手をしていたことから、神さまへのお参りのときにも、あいさつの気持ちを込めてパンパンと手を鳴らすようになりました。

卍七五三詣

三歳(男児・女兒)と五歳(男児)、七歳(女兒)のお祝い。これまでの成長を感謝し、これからの幸せを祈願します。

卍厄年

古来より一生の中で災難の多い、人生の節目の年とされる「厄年」その厄年に災厄から身をまもり無事に過ごす事ができるよう、神社で祈願します。全国的には前厄・本厄・後厄がありますが、長崎県では厄入、翌年に厄明(厄晴)をするのが一般的です。

卍長寿の祝い

- 還暦(61歳・満60歳)
- 古稀(70歳) ○米寿(88歳)
- 喜寿(77歳) ○卒寿(90歳)
- 傘寿(80歳) ○白寿(99歳)など



卍安産祈願

妊娠五ヶ月目の戌(いぬ)の日に神社にお参りして安産祈願を受けます。

卍お宮参り

子どもが誕生したことを報告し、健やかなる成長を祈願します。

※神社での祈願・お祓いをご希望の場合は、まず問い合わせをしましょう。

人生儀礼のお祓い

おはらい



四面宮位置図

※かつて四面宮だった神社の一覧



1 雲仙温泉神社 (総本社)
うんせん おんせんじんじや



2 千々石温泉神社
ちぢわ おんせん じんじや



3 愛野温泉神社
あいの おんせんじんじや



4 吾妻温泉神社
あづま おんせん じんじや



5 稲田神社
いなだ じんじや



6 瑞穂温泉神社
みずほ おんせんじんじや



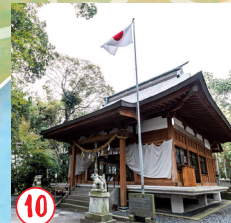
7 神代温泉神社
こうじろ おんせん じんじや



8 土黒温泉神社
ひじくろ おんせん じんじや



9 多比良温泉神社
たいら おんせん じんじや



10 湯江温泉神社
ゆえ おんせん じんじや



11 大野温泉神社
おおの おんせん じんじや



12 大三東温泉神社
おおみさき おんせん じんじや



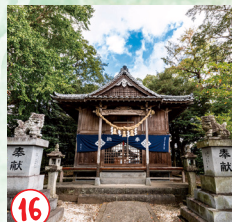
13 三会温泉神社
みえ おんせん じんじや



14 温泉熊野神社
おんせんくまの じんじや



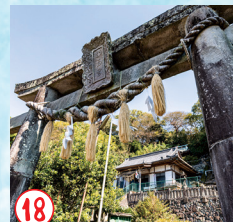
15 田中神社
たなか じんじや



16 有家温泉神社
ありえ おんせん じんじや



17 北有馬温泉神社
きたありま おんせん じんじや



18 加津佐温泉神社
かつさ おんせん じんじや



19 河上神社
かわかみ じんじや



20 宗方神社
むなかた じんじや



21 小川神社
おがわ じんじや



22 諫早神社
いさはや じんじや



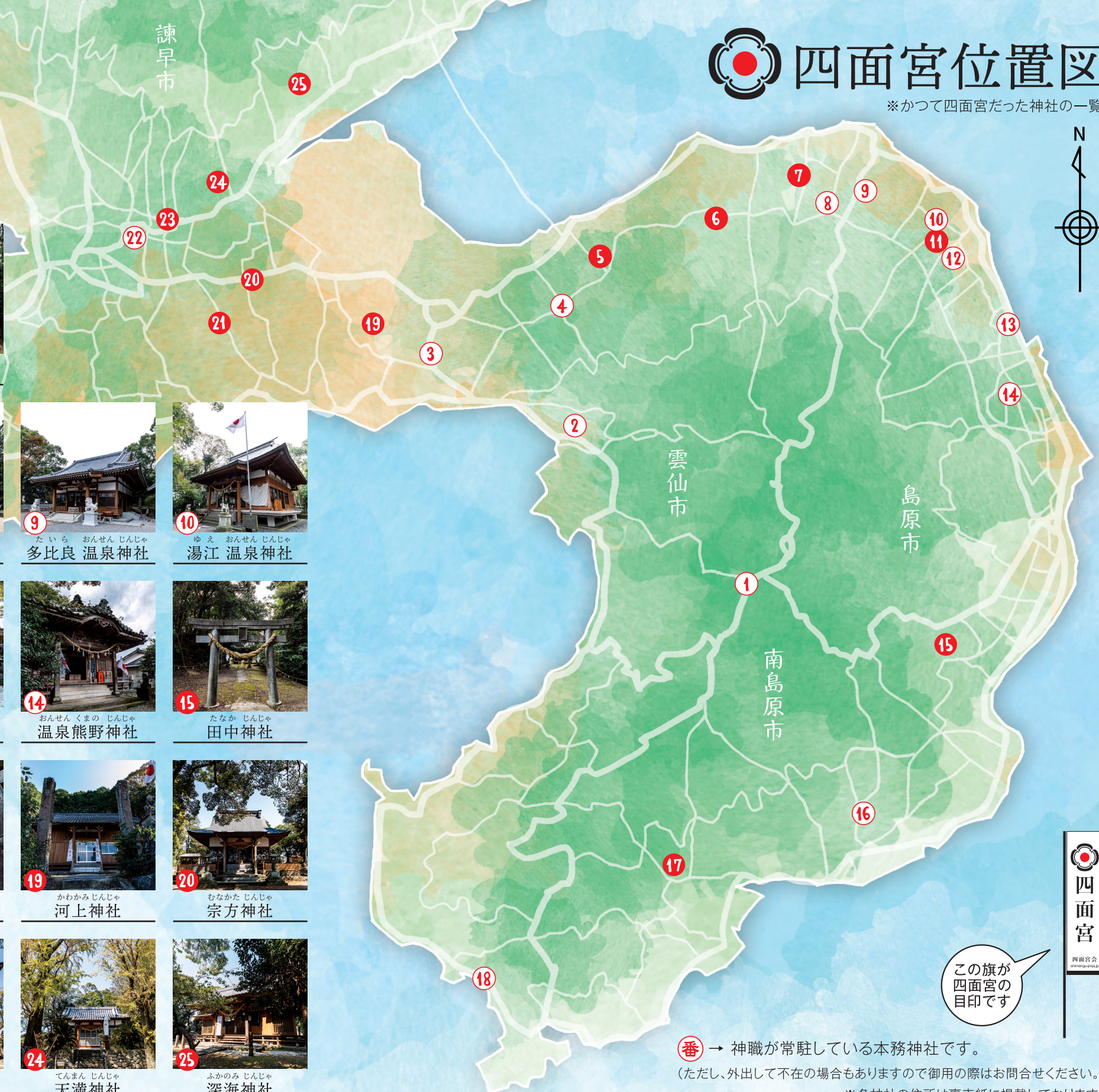
23 福田神社
ふくだ じんじや



24 天満神社
てんまん じんじや



25 深海神社
ふかのみ じんじや



この旗が四面宮の目印です

番 → 神職が常駐している本務神社です。
(ただし、外出して不在の場合もありますので御用の際はお問合せください。)
※各神社の住所は裏表紙に掲載しております。

四面宮
四面宮会
www.yasaka-no-miya.jp